

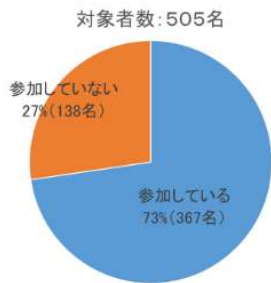
# 犬山市部活動地域移行 News No.7

## 【報告】第3回 部活動地域移行検討委員会について

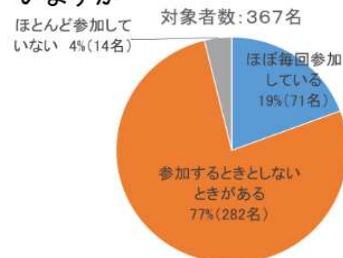
2月26日に開催された第3回部活動地域移行検討委員会では、1月までの休日合同クラブに関する生徒・保護者へのアンケートと回答について、部活動指導員・外部指導者へのアンケートと回答について、運動部顧問ヒアリングについて、各競技団体への中学生受け入れに係るアンケートについて協議しました。（詳細は犬山市HPにて掲載中）

### 【中学1・2年生対象 アンケート（2/21集計）】

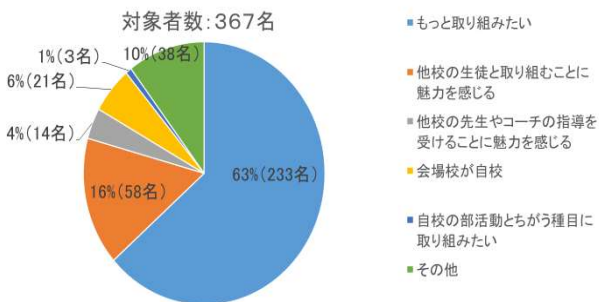
Q3: 現在、休日合同クラブに参加していますか



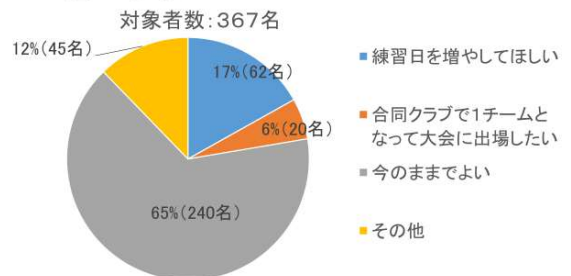
Q4: 休日合同クラブにどれくらい参加していますか



Q5: 休日合同クラブに参加している1番大きな理由は何ですか



Q6: 休日合同クラブの進め方についてどう思いますか



- 楽しいから。
- 強くなりたいから。
- 今までと同じ回数で練習したいから。
- 部活が平日だけだと時間が足りないから。
  - ・ 親に行った方がいいと言われたから。
  - ・ みんなが行っているから。
  - ・ 義務感

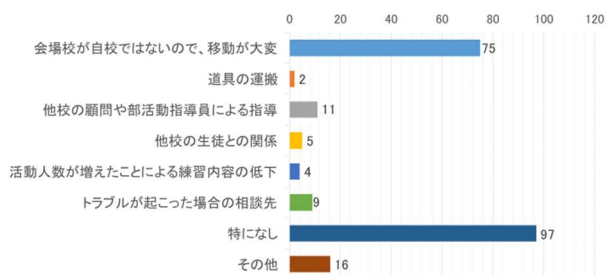
- 合同クラブの練習日を増やしてほしい。（剣道）
- 練習メニューをもっと他校と関わるようにしてほしい。（女子バスケット）
- ▲ 合同とは名ばかりで、同じ場所で練習しているだけなので、わざわざ遠方の会場まで行く必要はないと思う。
- ▲ 自分の学校で練習したいので、今より回数は減らしてほしい。

Q: 合同で活動する時に中学校ごとに別々で指導してしまう種目があるとのこと。指導者にはどのように休日合同クラブの活動について説明をしているのか？

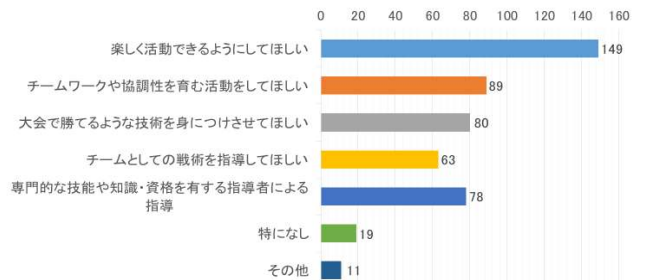
A: 休日合同クラブはスキルアップの場であるため、チームの戦術練習は平日の部活動で行うよう各顧問や指導員にもお願いしている。

## 【保護者アンケート (2/21 集計)】

★現在お子さんが休日合同クラブに参加している中で、お困りのことや不安に思われていること(複数選択可)



★今後、休日合同クラブに望むこと(複数選択可)

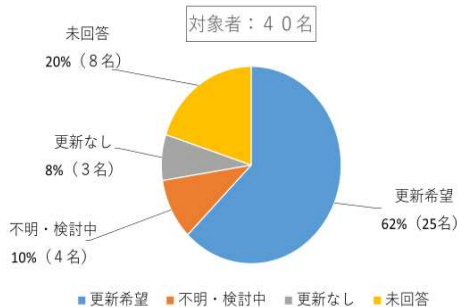


- ・ 部活の日数が少ない。(女子ハンドボール・テニス)
- ・ 活動の連絡がない。(サッカー)
- ・ 他校まで移動しても、活動は学校別に行うので、他校まで行く意味がない。(男子バスケ)
- ・ 今のところ合同という形で行われていないようなので、困ったことはない。(女子バスケ)

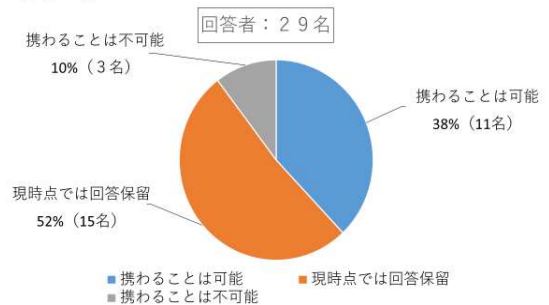
- ・ 合同クラブとして大会に出場してほしい。(剣道)
- ・ 保護者は他校の顧問や部活動指導員の方のことを知らない状態である。事故や急病等が起きたときのために、責任は誰にあるのか明確にしてほしい。保護者見学日があると嬉しい。(男子卓球)
- ・ 合同練習なら、いろいろな中学校を混ぜてのチームで練習してほしい。(女子バレー)
- ・ 自校で活動する生徒と毎週送迎をしなければいけない生徒との不公平さがある。(女子バスケ)
- ・ 犬山市の中学校が集まる機会を活用して、練習を工夫できないか検討してほしい。(男子バレー)

## 【指導員アンケート (2/21 集計)】

Q1: 令和7年度4月からの部活動指導員・部活動外部指導者としての登録について



Q2: 令和8年9月に地域クラブに移行した際について



Q: 運営主体を民間企業に委託する、もしくは教育委員会が運営の母体となるなど、地域移行するためのモデルが示されている。犬山市の考えは休日合同クラブを地域クラブに展開して任せていくということか？

A: 休日合同クラブの期間はあくまでも部活動という位置付けになるが、今後、地域クラブとして自走できるような形を見定めて動きたいと考えている。現在、教育委員会が休日部活動の事務局を担うことは想定していない。地域クラブの立ち上げを手伝うことや練習場所の確保についてはスポーツ交流課とも連携しながら行っていく。

Q: 令和7年度と令和8年度の夏の大会は学校単位で出場するという認識でよいか。

A: 中体連の規定には地域移行を見据えた複数校での参加も可能と記載してある。令和7年度は学校単位だが、令和8年度については種目によって考える必要がある。

## 【委員からの意見】

土日に活動する休日合同クラブの単位で大会に出場するほうがいいと思う。合同で練習しても大会は学校単位となると、学校単位のチームで練習をすることになってしまう。合同で試合に出場するならば、みんなで練習しようという考えになると思う。今後毎週土日が休日合同クラブになると、市内での練習試合が組めなくなる。合同部活動の単位でチームを組めば、他市町と練習試合もできる。ただ、そうすると大会に出場できる人数が減るので、デメリットもある。

土日の活動が令和7年度9月以降なくなると、平日は週に3日、授業が終わってから30分程度しか時間が取れない。チーム練習ができなくなることを心配している。また、バレーボール部が6名しかいないので、人数を揃えて試合への出場を保障するほうが生徒のためになると思う。その代わりにマイナス面として、試合に出場できない生徒が出てくる。どちらもメリット・デメリットはある。

現在の合同部活動はスキルアップ練習を目的にしているのでも、そもそもチームとして大会に出場することを前提としていない。今後、土日が合同部活動になって、チームでの出場が担保されていないと、ハレーションが起これると思う。中体連の大会出場規定が状況に追いついていないので、合同クラブで大会に出場することを進めていかないと、中体連の動向を窺っていたら始まらないと思う。各市町村や教育委員会から中体連への申し入れなどを行っていくべきではないか。

今のロードマップだと、休日合同クラブが地域移行後にそれぞれのクラブになっていくイメージだ。しかし、バレーボールは現在クラブチームが2つあるので、好きなチームに所属していく方向や、剣道は連盟が一手に引き受ける方向など、種目によって違う。現場は休日合同クラブが地域クラブになるというイメージだが、そうではないならば、どう引き継いでいけばいいのか。現在、顧問は休日の活動時間が以前に比べて長くなっていて、夏の大会に向けて更に増えていくことを懸念している。顧問のためにも、休日合同クラブが地域クラブの母体になることを説明していけるようにしたい。そのためには、指導者の確保や謝金の確保をしていかないといけない。

※アンケート結果や種目ごとのヒアリング、検討委員会での意見などを受け、今後の方向性を示していきたいと考えております。